

木づかい情報 第2号

木はサステナブル※な循環型資源

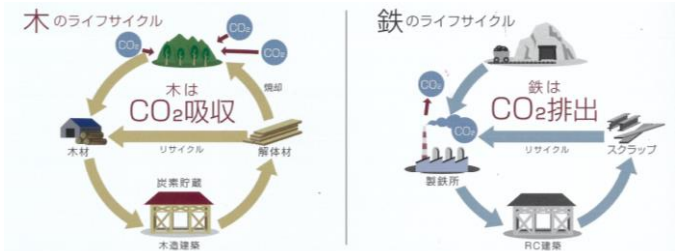
※ サステナブル：持続可能であること、特に環境破壊をせずに維持・継続できるという意味

森林は計画的に伐採・植栽して育てることにより「循環型資源」である木材を生産します。

例えば、鉄はリサイクルに優れますが、原料となる鉄鉱石等は限りある資源です。さらに、生産やリサイクルの際に大量のエネルギーを消費し、多くの二酸化炭素を排出します。

それに比べ、木は炭素を貯蔵し、生産時等のエネルギー消費が少ない環境に優しい資源と言えます。

木と鉄のライフサイクル(イメージ)



住宅一戸当たりの炭素貯蔵量と製造時の炭素放出量

	木造住宅	鉄骨プレハブ住宅	鉄筋コンクリート住宅
炭素貯蔵量	6炭素トン	1.5炭素トン	1.6炭素トン
材料製造時の炭素放出量	5.1炭素トン	14.7炭素トン	21.8炭素トン

資料：大熊幹章（2003）地球環境保全と木材利用，一般社団法人全国林業改良普及協会：54、岡崎泰男，大熊幹章（1998）木材工業，Vol.53-No.4：161-163.

人気急上昇！「信州カラマツ」

春の新緑、秋の黄葉が美しいカラマツは、県内の森林面積の26%を占める信州人には見慣れた樹種ですが、全国では4%しかなく、一番多い北海道のカラマツも元々は本県の苗木を植えたものです。

以前はヤニが多くねじれが出やすいことから製材品としては敬遠されがちでしたが、乾燥技術の向上やスギなどに比べて高い強度が評価され、近年は需要も増加しています。

皆さんご存知のやまびこドームやMウェーブ、**県立武道館【写真上】**などで多くのカラマツが使われています。

また、東京オリパラ会場となった**有明体操競技場【写真下】**では高い強度が評価され、信州カラマツが指定されて巨大なアーチが作られました。

